

令和3年7月 常任理事会 議事録

- 開催日時：令和3年7月16日（金） 18：30～19：52
- 開催場所：東京第一ホテル松山、zoom ミーティング
- 出席者：別紙 計18名（内 zoom 参加5名）
- 司会：宮嶋 嘉則 副会長
- 議事録署名人：菅 徹 監事、竹内 聡 担当教諭
- 議事録作成者：森元 志郎 事務局長

I. 会長挨拶（越智会長）

新型コロナウイルス感染は、県内では落ち着いてきたのかなと思っておりましたが、今日は陽性者が13人という事で、先行きは見えない状況です。新型コロナウイルス感染については、後ほど末光相談役から詳しくお話を聞かせていただきたいと思っております。本日は、同窓会総会の扱いや寄付について等、色々と議論していただきたいと思っております。宜しくお願いします。

（宮嶋副会長）

明日、17日、愛光学園新校舎の竣工式が行われます。越智会長と私(宮嶋)が出席し小倉副会長も「同窓会だより」の企画として参加し、取材される予定です。

II. 協議事項

1. 事業委員会（山澤副会長）

- ・同窓会総会・懇親会 開催について

： 例年10月には、同窓会総会・懇親会を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染の状況から、年内に懇親会的なものを開催することは難しいという事で予約をしておりました懇親会会場は、キャンセルしようと思っております。それに伴い今までと同規模の同窓会会場も必要ないのではと考えております。その中で、どのように総会で審議していただく内容を皆さんにお諮りしたら良いのかという事を検討してきました。一つには総会で全員集まれないにしても理事、常任理事、役員等が、現地の会議室に集まり開催し、それをZOOMによる配信にして参加していただく。また「同窓会だより」に議案だけ載せて採決を取るという事も考えられたのですが、議案の内容から少人数で開催して配信によって皆さんにご覧いただくという形を取りたいと思っております。ZOOMの参加の方法については、誰でも見られるホームページではなく「同窓会だより」で案内したいと考えています。新型コロナウイルス感染の状況次第では、少人数での現地開催も危うくなるかも

しれません。ちなみに日程として、東京第一ホテル松山の会場は10月30日(土)が空いているという事です。

それから関連がありますので、総会で審議していただく議案を審議、決議する全理事会は、例年9月の最終土曜日に開催してきました。新型コロナが現状程度の感染具合なら開催可能という事で、こちらについても懇親会を開かない形として全理事会を開きたいと考えております。日程としては9月25日(土)になります。

(末光相談役)

新型コロナウイルス感染の状況について

状況については非常に厳しいと思います。今日も東京では陽性者が1200名を超えており、今後東京の状況はまだまだ悪くなると思え、当然、東京から地方へ拡がるのが予想され、愛媛県、松山市もだんだん陽性者数は増えていき、変異株であるデルタ株の割合も増えると思います。後はワクチン接種との駆けっこになります。松山市では、当初8月1日でした50歳代のワクチン接種が7月25日からスタートし、その後40歳代、30歳代と日をおいて進んでいくとは思いますが、いかんせん東京の状況が悪く、他の地域も既に拡大傾向にあります、またオリンピックも開催されるという事でますます悪化すると考えられます。という事で9月、10月のリアルな会合はまず無理で、リアルとリモートもハイブリッドがせいぜいだと思います。10月の同窓会総会翌日のゴルフは、この後キャンセルします。

(越智会長)

先ほど山澤副会長から、同窓会総会をハイブリッドで行ってはどうのご提案が、ありましたが、その前提条件が現状維持の状態であればという事だったと思います。ただ、今、検討できるのは現状維持であればそういう形で行おうということであろうと思いますが、これから、もし情勢が悪化するようであれば、再検討が必要だと思います。ですから、今日は決定事項というのではなく、現状であればという前提条件で進めていくしかないという気持ちがあります。今後、もし大きな変動があったら、もう一度検討するべきというので如何でしょう。

(宮嶋副会長)

「同窓会だより」に案内を入れるとすると最終締め切りは、何時になりますか？

(小倉副会長)

別紙で同封するというのであれば、デッドラインは9月20日ぐらいになると思います。

(越智会長)

大事なことから別紙で同封しても良いですし、9月20日であれば、その前に9月常任理事会で決議できると思います。

(山澤副会長)

9月の感染状況が悪くなって、全理事会もしくは同窓会総会が、リアルに開催出来ないとなった場合に、今回は寄付に関して大事な議案がことからその対応を

よく考えて頂きたいを思います。

新校舎寄付について、コロナ禍の影響もあり思うように進んでおらず、積み立ても含めた同窓会会計の余剰金の中からある程度の額を70周年記念事業に拠出していただく必要があるだろうと考えております。全理事会では、それについてのじゅうぶんな審議、議論、決議が必要となってきますので、過去の例もありメール稟議でもできますが、その内容から軽々に結論は出せず、リアルに開催できないという事であれば、その方法もよく考えておきたいと思っております。

(西岡理事)

拠出する金額の規模について、だいたいのイメージはありますか。

(越智会長)

今回の新校舎への寄付について、学校側から上がっていたのが総額として3億円同窓会で何とか2億円をお願いできないかという要望でした。それで、一応それに向かった目標にしていこうという事でした。学校側としては、今後もずっと寄付を受け付けていくようですが同窓会としては来年3月末を切としています。その中で、現状としては寄付の総額が、約1億7千万円、同窓生からの寄付は、約1億1千万円でかなり低い金額です。山澤委員長のところでも次の同窓会総会が最後のお願いの機会であるとして、今後どうするか議論を重ねていますが、現在、目標には厳しい状況ですので、情勢としては、今同窓会が持っている余剰の部分こそちらの方に回していく方向で考えていかなければならないかと思っています。

(末光相談役)

現状であれば、ハイブリッド形式での開催は、問題ないと思います。

後は、リアルに参加されるメンバーの内、ワクチン接種済みの方の割合がどれくらい増えるかという事ではないでしょうか。今後、ワクチン接種は進み、その割合は増えるでしょうから、ハイブリッド形式を目指しておいて良いのではないかと考えます。ただ、ワクチン接種を参加条件にすることは出来ないと思いますので、出来るだけZOOMを優先してもらいたいと思っています。

(野村副会長)

ハイブリッド形式で行う場合、各地区・支部において、集まれる所は集まっていたらサテライト式にZOOMで結ぶ方法も良いのではないのでしょうか。

(宮嶋副会長)

末光相談役のお話を聞いても、同窓会総会をハイブリッド形式で開催することの可能性は限りなく高いという事で、10月30日のハイブリッド開催を目指すという事でどうでしょう。また、野村副会長から提案のあった、各地区・支部ではサテライト形式も検討していただくことで如何でしょう。

(渡部理事)

先ほど、ZOOMにおいて、参加人数制限がプランにおいて、100人か300人という件がありましたが、弊社は、ZOOMウェビナー(Webinar)を持っており、500人

の参加が可能で、同窓会総会のようなものであれば適したツールだと思います。

- ➡ 人数の把握も難しく、会の性格からもウェビナーが、良いと思われるので、小倉副会長に検討していただく方向で進めます。

・創立 70 周年記念事業

「創立 70 周年記念事業特別実行委員会」について (山澤副会長)

創立 70 周年記念事業として、せっかく新校舎が出来たという事で記念イベントを新校舎で開催したいと学校側に申し入れをしておりましたが、来年 2 月にならないと来年度の 4 月以降の予定は決まらないという事です。記念事業は来年の秋口にかかるとは思いますが、現体制の任期である 8 月末を超えて活動しなくてはならない事になると思いますので、現体制を「創立 70 周年記念事業特別実行委員会」の委員として、任期を跨いで担当させていただきたいと考えております。そのため「創立 70 周年記念事業特別実行委員会」設立を提案いたします。

(宮嶋副会長)

前回、創立 50 周年の時もこういう「創立 50 周年記念事業特別実行委員会」の形を取ったという事ですので、提案に賛成で良いですね。

- ➡ 一同賛成

(参考) 新校舎整備スケジュール

2021. 7	新校舎完成	引っ越し
	体育館・ホール	起工式
2021. 8	旧校舎	解体
2022. 4	体育館・ホール	完成
	カフェテリア・文化会館	起工式
		創立 70 周年記念事業開始
2022. 10	カフェテリア	完成
2022. 11	文化会館	完成
2023. 2	グラウンド整備	完成
2023. 3	キャンパス整備	完成

・70 周年記念事業寄付特別委員会

- ・同窓会費の余剰金を新校舎建設に寄付する件について (山澤副会長)

先ほどもお話がありましたが、同窓会の目標 2 億円に対して、現状としては約 1 億 1 千万円という事になっております。コロナが始まる前は調子よく増えていって、これならば目標もじゅうぶん達成できるかなと思っていたのですが、ここ一年半かなり停滞しております。各期の理事の皆様には、お願いをして寄付活動を強めてくださっている所もたくさんあるのですが、やはり経済状況とかも含めてなかなか難しいというのが現状です。そこで、同窓会会計の中で計上されている余剰金の内、どのぐらい拠出できるのかという事を考えていただきたいと思います。

思っております。その額については、皆様のご判断だと思えます。

あと、「同窓会だより」において、再度お願いをします。また同窓会総会でも
どういう形で開催するにしても、お願いしなくてはならないと考えております。
そして、最終最後のお願いは年明けになりますが、今年4月に年度が変わり、
税制控除が新たに受けられることもお知らせしながら、もう一度周知したいと
思っております。寄付特別委員会もなかなかリアルには開催できていませんが、
もう一度手法を再検討したいと考えております。

(宮嶋副会長)

時間的な意味でいいますと、余剰金からいくら寄付をするかという事をそろそろ
決めなければならないと思えます。今日7月常任理事会で議論を詰め、9月の
常任理事会で決めて、9月の全理事会で審議、決議を行い、その後、10月の
同窓会総会で審議の後、決議をいただかなければなりませんので、最終段階の
議論をお願いします。

(越智会長)

同窓会そのものは任意団体ですので、資金がプールされていくというのは、
あまりよろしい状態ではなくて、単年度の予算がその年度に消化されていく
様な事業を組んでいくのがベストだと考えております。そういう中で、ここ
数年度は概ね年間300万円、繰越金が増えております。だいたい現状の会員数
からの年会費納入者数で、現状に近い事業内容であれば、同程度の余剰金が予想
されます。今後、節目として10年毎の周年事業を考えていくとした時、仮に300
万円の内、200万円を記念事業費として積み立てられるのであれば、10年で
2,000万円という事になり、何か記念になる事が出来るのではないかという
イメージを持っています。残りの100万円は、更なる会の活性化とか、もしくは
学園本校生徒への支援とか、そういったものをもう少し積極的にやるということ
を考えていけば良いのかと思っております。それに寄って更に会費納入者が増え
ていけば収入も増えますので、運営資金、余剰金もプールできるという形に
なるのかなと思えます。

(山澤副会長)

まだ具体的なものはありませんが、周年事業に1千万円や2千万円を使うと
いうのは現実的でないと考えます。それよりもなるべく寄付の方に回したいと
思うのが、現状です。

(末光相談役)

創立50周年の時には、私が担当となって様々大きな事業を行い、その総額が
1,400万円でした。特に大きな事業をしなければ、1,000万円を超えることはない
と思えます。また、現在の繰越金には寄付のために貯めたお金も含まれていると
いう認識もあります。これから、将来20年以上、校舎建設はないわけですから
潤沢に会費が集まるようであれば、出来るだけ多く支出しても良いような気が
します。

(菊池副会長)

任意団体である同窓会は、元々集めたものを使い切るという組織なので、貯金が残るという発想はないと思います。ですので、今後の事業に必要なお金としてプールするものはあっても良いですが、ここ数年の数字の動きを見ていたら、会費納入者が少しずつ増えていて、充実した事業が出来るのであれば、ここで一回吐き出しても、今後そんな大きな支障はないのではないかと、私は思っています。

- ➡ 同窓会費からの新校舎寄付について、全理事会の決議が必要ですからタイミングとして「同窓会だより」には、別紙に議題として提案することになるかと思います。
全理事会、同窓会総会で、説明が出来るように準備することが必要です。

今後の寄付の進め方について (山澤副会長)

- ・いろいろなやり方はあると思いますが、なかなか現状として、皆様に「同窓会だより」やホームページでお願いしても届かないところもあるので、やはり大口狙いかなと思います。もう一つは、過去 今年3月までに寄付を頂いた企業様にもう一度お願いするという事もあり得るかなと考えます。
他に何か良い案があれば、教えて下さい。

(越智会長)

今年の「同窓会だより」と同窓会総会が、最後の広報的なところとなってきます。小倉副会長の下で今回の「同窓会だより」の中に寄付に関するスペースも取っていただいているようですが如何ですか。

(小倉副会長)

昨年、別刷りのカラー印刷で、ホアン理事長、越智会長の挨拶、昔の校舎の写真も貼って、寄付のお願い文書を「同窓会だより」に同封しました。最後の公式なお願いをするチャンスですから、今年も新たに別刷りでお願い文書を作成し同封したいと考えています。

別に郵送等すると、余分な費用が掛かりますから、「同窓会だより」と共に出すのが良いと考えて準備しています。

今年4月に年度が変わり、税制控除が新たに受けられることもお知らせしながら、もう一度周知したいと思っております。

2. 広報委員会 (小倉副会長)

- ・「同窓会だより」について

各期理事、部活動、各地区・支部の皆様には、先月に原稿依頼の文書を送っています。早い方は、ぼつぼつ届いていますが、まだ少ないですし、残念ながらコロナ禍の影響もあり内容は薄めです。依頼文書にも書きましたが、今年に

限っては、個人の近況とか同窓会員に関連することであれば、何でも結構ですとしており、何とか形になると思っております。

特集ですが、新校舎について考えており、明日 17 日の竣工式の取材に行きます。また、後日、理事長と校長にもインタビューをお願いしています。それから、更に校舎をテーマにした座談会を組む予定で、宮西校舎と衣山校舎について、宮西校舎については、元 末光会長、前 亀井会長、現 越智会長 と 生徒と教員でどちらでも過ごされた地元の小立先生とでお話していただきます。衣山校舎の方は渡部理事に人選も一任して、若い世代や女性も含めてフレッシュな感じで校舎について語ってもらう事にしています。

後、OBの寄稿についても、コロナ禍の影響を受けている業界の一つであるエンタメ業界の方をお願いしております。

- ・「インテルノス」について

9 月末発行と決まりました。同窓会通信の執筆者として 30 期の白石卓也さんをお願いしています。

- ・「同総会だより」封入物について

新校舎寄付について別紙で作成して封入します。

同窓会総会の案内、年会費納入のお願いも別紙にて封入します。

発送代金節約のため、昨年と同様に年会費を払っている同窓生には「インテルノス」も同封します。

- ・同窓会ホームページ、振込画面の修正について

29 期 安東様からご指摘のありました、同窓会ホームページの年会費納入におけるのクレジット振込画面のセキュリティーの不備について、修正しました。

3. 事務局から

- ・2021 年 各地区・支部補助金について（添付資料参照）

6 月 7 日（月）に 関東地区 538,866 円、関西支部 224,833 円、

九州地区 117,915 円、中部地区 100,000 円を振り込みました。

沖縄県支部へ 6 月 21 日に 30,000 円、京滋の会へ 6 月 24 日に 100,000 円

補助金を振り込みました。

- ・創立 70 周年記念品について

同窓会マークの砥部焼ピンバッジが出来上がりました。

販売価格は、1,500 円

同窓会ホームページに「70 周年記念グッズ販売」のバナーを作成し

その中に載せました。

- ・オンラインミーティング

ZOOM有料プランについて

月額：2,200円（税込み）

昨年12月から使用してきましたが、遡って同窓会費から支払うこととします。

- ・63期 理事：橋本尚憲さん(はしもと ひさのり) に決まりました。

4. その他

- ・関東地区からの報告（西岡 関東地区同窓会代表）

6月26日「愛光学園関東地区同窓会新入生歓迎会（リモート開催）」を

62期：4名、63期：12名、OB：14名の計30名で開催しました。

1時間ほどの自己紹介の後、色々な話をし、その後各期別に分かれてオンライン上で同期の話し合いをするなど、盛り上がりました。初めての試みでしたが、予定通り開催できました。首都圏の感染状況が厳しいという事もありますから、緊急事態宣言が8月22日までとはいえ、9月の幹事会は、難しいのではないかと思います。7月の幹事会は18日にリモートでの開催を予定しております。

以上、常任理事会議事録について 議事録署名人が確認致しました。

議事録署名人 菅 徹 [確認日：令和3年7月20日]

議事録署名人 竹内 聡 [確認日：令和3年7月22日]